

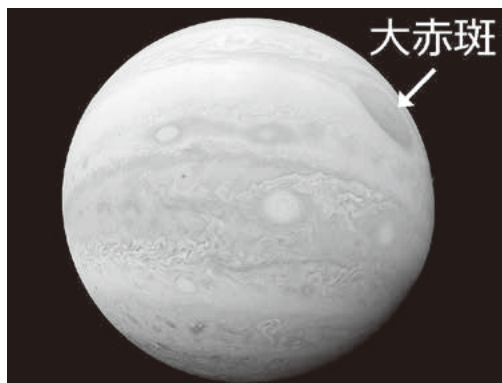


天文学の扉を開こう

6月の夜空

木星が見頃に

木星が今月11日に「衝」を迎えます。衝とは、太陽系の天体が、地球から見て太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。衝の頃には、地球からその天体までの距離が近くなるため大きく明るく見え、また、一晩中見ることができます。このため、衝の前後が、その天体の観察の好機となります。木星が昇ってくる時刻はだんだん早くなり、下旬頃には真夜中前に南の空高く昇ってくるので、宵のうちから木星が見やすくなります。ですから、ぐんま天文台で週末の19時から22時に行っている、大型望遠鏡を使った天体観望で木星を見るなら、この時期から見頃が始まるというわけです。梅雨の晴れ間の週末には、ぜひぐんま天文台に木星を見に来てください。



さて、写真は、木星を周回しているNASAの探査機「ジュノー」が、2月12日に木星接近を行った際に撮った3枚の画像を合成したものです。右上に写っている大赤斑(元の画像では鮮やかなオレンジ色をしています)や、複雑な縞模様や渦巻き模様がよく見えています。木星の南半球をクローズアップしたように仕上がっているため、見慣れた木星のイメージと少し感じが違うかもしれません。

この縞模様や渦巻きの正体は何なのでしょう？木星は水素やヘリウムのガスでできた「巨大ガス惑星」で、地球のような硬い大地はありません。木星の縞模様を作り出しているのは、木星大気中の雲なのです。木星の大気には、メタン、アンモニア、硫化水素、水蒸気などの成分が含まれ、それらが様々な色の雲を形成しています。雲が縞模様になるのは、木星の上空には最大風速百数十メートルもの強い風が吹いているからです。木星では、赤道に平行して東風と西風が交互に吹いていて、この風に雲がのって縞模様を作り出しています。また、東風と西風の境界付近では気流が乱れて、大赤斑や大小様々な渦巻き模様が作られ、その下では嵐が吹き荒れています。

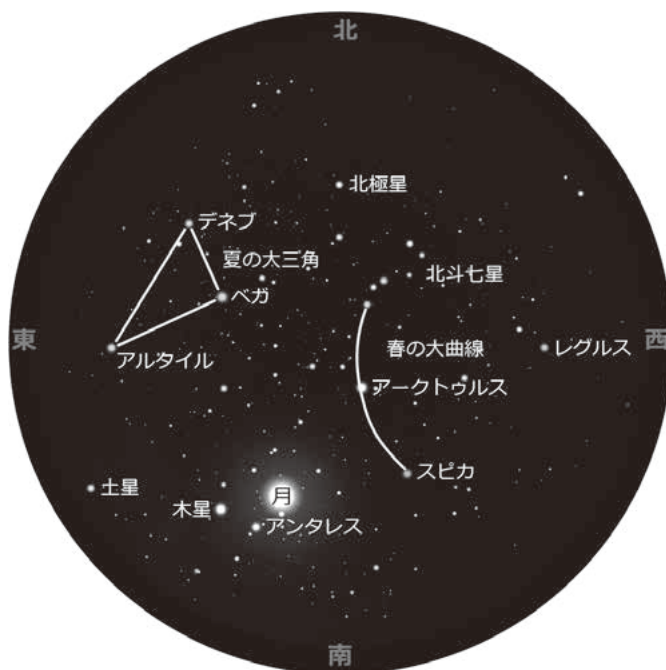


6月のぐんま天文台のイベント

・8日(土) スマホやデジカメで月を撮ろう

○星図の説明

6月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります(「月」を除く)。



～5月の 高山村～

カメラ
フォト
ショット



道の駅から



カタクリの花



りんごの花



ゴヨウツツジ



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(※^_^) ☎26-7944(直通)



梅沢 佐藤 颯真くん(2歳)

僕の名前は「そうま」です。颯爽と吹く風のように精悍で、真実を見極める力をもった人になってほしいと両親が名付けてくれました。

お兄ちゃんと一緒に虫を捕ったり、カエルを見つけたりするんだ。いつも元気いっぱいだよ！

★いつもニコニコ、優しい颯真の持つ雰囲気にもみんな癒やされています。これからもたくさん遊んで、学んで、一緒に成長していこうね ☆パパ・ママ・兄・妹より

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

どうも！第26期緑のふるさと協力隊の藤井響市です。

高山村は桜が散り始め、新緑が美しい時期にかわつてきましたね。私は高山村の生活にまだ慣れないことも多いですが、気が付けばここに来てから1カ月が過ぎました。

高山村に来てから農業や各施設のお手伝いなどに携わりましたが、そこで関わった村民の方々は優しい方ばかりです。私は着任してから健康維持のため毎日筋トレを行っていません。鍛える部位を曜日によって替えて、バランスよく鍛えています。これから気温が高くなり、外での作業が過酷になってくるので少し不安ですが、体調に気を付けながらなんとか乗り切りたいと思います。

今後は、高山村



の自然により親しむため、山菜や野草を採って調理して食べてみたいですね。おいしい調理方法があったら、ぜひ教えてください！また、農業や各施設のお手伝いなど、引き続きご依頼をお待ちしています(日程調整があるので、地域振興課へ連絡してください)

これからも高山村の魅力をどんどん見つけていきますので、よろしくお願ひします！

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>